

露地・雨よけ

平成 28 年 5 月 13 日
J A 中野市営農センター
J A 中野市サクランボ部会

サクランボ特報 No4

現状の生育ステージは平年よりも7日程度早く推移しており、結実状況が判明してきました。4月中旬の低温・凍霜害の影響で、早生種中心に結実にバラつきが見られております。実が少ない場合には摘果作業は見送り、花カス落としや新梢管理を実施しましょう。

1.薬剤散布(未成木も実施)

・隣接する園地や他作物にはかからないようにする。

*散布時期 5月中旬(15日~20日)頃

・散布日	5月	日	・散布量	ℓ
------	----	---	------	---

*散布薬剤(水 100ℓ当り)

オンリーワンフロアブル 50ml (前日、3回)

テルスターフロアブル 33ml (前日、2回)

*対象病害虫：灰星病、炭そ病、ショウジョウバエ類、ハダニ類

*散布量：10a当り SS 500ℓ 動噴600ℓ

*注意事項 ①今回から収穫終了まで展着剤は加用しない。

②肥大中期までの散布、汚れに注意する。

③黒斑病発生園は、ベルコートフロアブル 1000 倍(7 日前、3 回)を加用する。

④カイガラムシ類の発生が多い場合は、アプロードフロアブル 1000 倍(7 日前、2 回)を加用。枝・幹にていねいに散布する。一収穫前使用時期注意。

⑤ハダニ類の発生が心配される場合は、エコピタ液剤 100 倍(前日)を加用する。

*栽培日誌の記帳、初出荷日までに提出をお願いします。

*裏面も必ずご覧ください

2.今後の管理

*摘果・結実が確定後

結実状況確認後(生理的落果終了後)摘果の実施。1花束状短果枝3～4果程度として、果実が密着しないようにする。また、樹勢や日光の入り具合をみて加減し、強樹勢樹・佐藤錦等は裂果防止・適樹勢維持のため着果はやや多目にする。

*新梢管理(主幹形の場合)

- ・摘芯：満開から2～3週間頃から始める目安となります。6芽程度(4～5枚)または、基芽を残して新梢を摘芯する。
尚、樹勢を判断して強い新梢は若干長めに残し、徒長枝や枝が繁茂している箇所を中心に実施する。
- ・誘引：落ち着いた短果枝を確保する。徒長枝になりそうな強い枝は誘引し花芽着生を促す。

*着色管理(樹上部の果実が着色し始めた頃の作業)

- ・葉つみ、葉上げの実施(過度の葉つみはしない。陰になりやすい場所を中心に)収穫予定の7日～10日前頃から果実に直接かぶさる葉を摘む。あるいは、輪ゴム等により葉をまとめ上げる。(葉上げは雨除けハウスで行う。露地は裂果発生のため、実施しない)
- ・反射マルチの利用—白色マルチではタイベック、パールライトSなどがあります。
- ・雨よけ施設の被覆 5月下旬(生育は昨年よりやや早く進んでおります。)

詳細は講習会にご参加をお願いします。

露地・雨除けサクランボ 摘果・新梢管理 講習会

● 日時・場所

支部名	日 時	集合場所
南部支部	5月13日(金) 午前 8:30	日野事業所
平野・長丘支部	5月13日(金) 午前 11:00	長丘事業所
高丘支部	5月13日(金) 午後 2:00	オランチェ北駐車場
平岡支部	5月16日(月) 午前 8:30	ぶどうセンター
科野支部	5月16日(月) 午前 11:00	科野事業所
倭支部	5月16日(月) 午後 2:00	高社共選所倭集荷所